地域 家庭 学校
みんなで子どもを育てるコミュニティ・スクール
令和８年10月発行
潮見台中学校区
学校運営協議会

信香町 勝納町 新富町 若竹町 潮見台 真栄 奥沢 若松 住吉町 築港 信香町 勝納町 新富町 若竹町 潮見台



しおみだい

潮見台中学校区 学校運営協議会

コミスクだより



真栄 奥沢 若松 住吉町 築港 信香町 勝納町 新富町 若竹町 潮見台 真栄 奥沢 若松 住吉町 築港

学校運営協議会(小学校部会)開催

今年度４回目の学校運営協議会を 10 月６日に行いました。ちょうど半年を経た今回は、各種アンケートや全国学力・学習状況調査等のデータを基に本校の教育活動を振り返りました。運営委員の皆さんからは、「6 年生を頂点に学びが積み上がる様子を感じ嬉しい。」「学校での成長が子どもの行動に表れていると感じる。」「朝ご飯を食べている割合が高いのはホッとしている。」等と嬉しい声をたくさんいただきました。これからも、子どもを真ん中に家庭と地域と学校とが協働し、楽しみながらよりよい学校を創ろうという思いを深くしました。



子どもの成長を示す説明に目を細めます

小学校の実践　～子ども自身がつくるグランドデザイン～

難しい言葉が並びがちなグランドデザイン（学校運営全体構想）を、子ども達の学校生活に“わかりやすく”つくりなおす活動を進めています。授業で６年生の知恵を集め、児童会運営委員が整える協働作業です。

委員の皆様からは、「自分たちの学校を自分の手でつくる発想が素晴らしい。」「AI の力に頼らないというコメントが頼もしい。」…等、多くの声があがりました。



「AI につくらせたグランドデザイン」に子どもが『命』を宿らせます

校内探検～現役小学生から多喜二の足跡まで～

最後は委員全員で校内探検をしました。校内には、新聞に掲載された短歌・川柳をはじめ児童の活躍の跡がたくさんあります。そして各学年の廊下には、現在の子どもの創意あふれる作品が並びます。しかし、楽しんでモノをつくるのは大人も一緒。秋をテーマに図書館が、保健室が掲示で発信し、用務員の日高さんもクリエイティブに学習・生活環境を整えます。委員の皆さんは、児童作品が彩る整った校舎環境に感心していました。探検のゴールは「郷土資料館」。本校の歴史にも思いを馳せる充実した時を過ごしました。



資料館は明治大正昭和のおもむき

学校運営協議会(中学校部会)開催

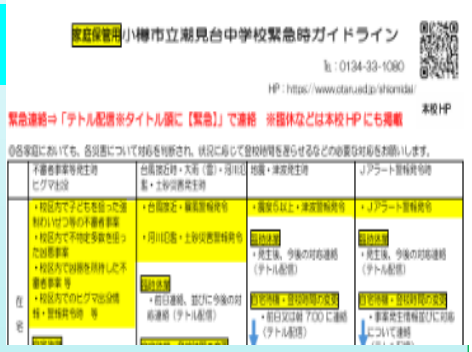


10月6日、小学校と同日に第4回学校運営協議会を開催しました。今回は2学期の生徒の様子を中心に報告したほか、先日行われた文化祭で受付をお手伝いいただいた運営委員のお二人からも温かい感想をいただきました。

また、今回は小樽潮陵高校の佐々木校長先生にもご参加いただきました。本地区が目指す子供の姿である「折れない心」「何かにひたむきに取り組む力」について改めて協議し、小・中・高の連携、さらには大学とのつながりについて議論を深めました。

小樽市内には大学もある恵まれた環境があります。この地域の力を活かし、「子どもを真ん中に」家庭・地域・学校が協力し合って、子供たちとこの街の明るい未来を支える学校づくりを進めてまいります。

中学校の実践　～子供の安全を守るために～


家庭保管用 小樽市立潮見台中学校緊急時ガイドライン

TEL：0134-33-1080

HP：https://www.otaru.ed.jp/shiomidai/

本校HP

緊急連絡⇒「テトル配信※タイトル頭に【緊急】」で連絡　※指休などは本校HPにも掲載

1．冬季の悪天候への備え

冬の悪天候時の対応について、小・中・高で緊密に連携していくことを確認しました。

○家庭保管用「緊急時ガイドライン」の配布

緊急時の基本的な対応をまとめたプリントを全校生徒に配布。「もしも」の時にどう動くか、ご家庭でも事前に約束事を話し合っていただけるよう呼びかけています。

2．校内探検　～防災備品の保管場所を確認～

本校は【小樽市指定避難所・指定緊急避難所（洪水・土砂・地震）】となっています。

○避難スペース：感染症対策に配慮した配置で約95人分

○非常用備品　：非常食（クラッカー・アルファ米）約200食、毛布50枚、石油ストーブなど

実際に備品を見学しながら、真夏や真冬に避難所を開設した場合の課題や、駐車スペースの確保など、地域と共に検討すべき点について確認し合いました。

3．全校防災教室　～避難所運営ゲーム「Doはぐ」を実施～



10月9日、市総務部災害対策室の担当者を講師にお招きし、防災教育カードゲーム「Doはぐ」を実施しました（学校運営委員の村上さんにもご観参いただきました）。

【Doはぐ　とは？】

真冬に直下型地震が発生し、電気や水道が止まった状況を想定したゲームです。配られるカード（「高齢者が避難」「ペット連れ」などの様々な条件）を見ながら、グループで話し合って避難者の居場所や対応を決定していきます。

生徒たちは「どんな配置にすればみんなが過ごしやすいか」を積極的に話し合い、災害時の対応と防災意識を実践的に学ぶ貴重な機会となりました。

小中の連携～小学校避難訓練～



9月17日、津波を想定した潮見台小学校の避難訓練が実施されました。

児童たちは、高台の中学校グラウンドへ素早く全員で避難。消防署の方や両校長先生のお話を真剣な表情で聞く姿勢がとても印象的でした。

学校運営協議会や防災訓練を通して、学校・家庭・地域の「つながり」の大切さを改めて実感する2学期となりました。皆様のお力添えをいただきながら、子供たちが安心して学び、笑顔で成長できる環境づくりを進めてまいります。今後とも温かいご理解とご協力をよろしくお願いいたします。